

CSSJプラグイン

目次

概要	1
動作環境	1
主な機能	1
ダウンロード	1
導入方法	1
ページのPDF化	1
インラインプラグイン	1
カスタマイズ	2
制限事項等	2
ライセンス	2

概要

Copper PDFを用いてPDFを出力できるようにするプラグインです。

動作環境

Copper PDF 2.0.0以降またはCSSJ Server 1.2.0以降が必要です。

Copper PDF (またはCSSJ) を動かすためには、JavaVM(J2SE 1.4.1以降)が必要です。

主な機能

- 任意のページをPDF化します。
- 複数のページをまとめて完全なドキュメントを作ります。

ダウンロード

こちらのページ からダウンロードしてください。

導入方法

アーカイブ内にはEUC-JP用のプラグインとUTF-8用のプラグインがそれぞれ別のディレクトリ(euc_jp, utf8))に格納されています。使用するPukiWikiのエンコーディングに合わせて選択してください。

各ディレクトリ内のpluginディレクトリとskinディレクトリを、PukiWikiの同名のディレクトリにそのまま上書きしてください。

次に、plugin/cssj.inc.phpをテキストエディタで開き、\$port,\$user,\$passwordの値をCopper PDFに接続できるように設定してください。

ページのPDF化

?plugin=cssj&title=タイトル&pages=ページ名1,ページ名2,ページ名3..という文字列をURLの後に付けてPukiWikiにアクセスすることで、1つまたは複数のページをまとめて指定されたタイトルのPDFに変換することができます。タイトルを省略した場合は、最初のページの名前が使われます。

例えば、http://localhost/pukiwiki .php ?FrontPage の PDF 出力 が 欲しい 場合 は、http://localhost/pukiwiki.php?plugin=cssj&pages=FrontPageへアクセスしてください。

インラインプラグイン

PDFへのリンクはインラインプラグインを利用して作ることもできます。以下の書式で記述してください。

```
&cssj(title,page1,page2,page3...){content};
```

titleはPDFのタイトルで、page1,page2,page3...は変換対象のページ名です。ページ名を省略すると、インラインプラグインが記述されたページ自身が対象となります。

contentはリンクに表示される文字列です。省略すると、タイトルが使われます。

カスタマイズ

必要に応じて、以下のファイルを編集してください。

plugin/cssj.ini.php

Copper PDFの接続設定、PDF出力オプション、一部のスタイル情報。

skin/cssj.css

出力スタイル。

PDFの出力オプション等はCopper PDFのドキュメントを参照してください。

CSSによるスタイル付けはW3CのCSS 2.1に従います。印刷に関するものはPaged mediaの章で解説されています。

また、CSS2の邦訳とCSS2.1での変更点が公開されています。

制限事項等

Copper PDFはネットワークでつながった別のハードウェア上にあっても構いませんが、画像などのリソースへはCopper PDFからHTTPでアクセスできなければなりません。そのため、ファイヤーウォールやDNSの名前解決の問題により、ネットワーク環境によって画像などが表示できない可能性があります。

出力したPDFファイルをcacheディレクトリに蓄えるため、いずれかのページを編集した後、2度目以降のアクセスは高速になります。キャッシュのキーとして、ページ名を連結したものに対するMD5ハッシュが使われるため、衝突する可能性はゼロではありません。また、いろいろなページの組み合わせでPDFを出力すると、その分だけキャッシュにPDFファイルがたまりま

ライセンス

Apache License Version 2.0 です。詳細はパッケージに含まれる文書(README.txt)を参照してください。